監督・コーチの皆様を知っておいていただきたいこと

【2025年度バージョン】

- 全国大会の規定に従って大会を行っていきます。
服装などについては規定の遵守をお願いします。(特にテニスシューズ)
試合会場での日傘は反射しない黒系をお願いします。特にシルバー系は反射するので試合の妨げとなります。(応援の保護者の方への呼びかけも顧問の先生からよろしくお願いします)
- ゲーム中の監督については、
 - ①対戦においてはできるだけ選手と一緒に整列をお願いします。あいさつの後はすぐに1対戦目に入らせてください。(なお、あいさつ後の円陣・エール交換・集合はイエローカードの対象)、またオーダー表の名前は間違いがないように気をつけるとともに記載責任者名を忘れずに記入してください。
 - ②ベンチの監督は途中で交代できません。また1度ベンチを離れると戻ることはできません。
 - ③試合中(サイドコーチ中も含む)はベンチから立ち上がらないでください。
※サイドコーチ時、生徒をベンチに座らせて、その前に監督がしゃがみこんでの助言はできます。
 - ④規定外のアドバイス(サイドコーチ時以外るとき、またはベンチ外から)は禁止です。
 - ⑤応援のルールやマナー、インプレー中の発声について顧問の先生は応援生徒や保護者の方への声かけをよろしくお願いします。
 - ⑥コーチの方は大会中、コーチ証が常に見えるようにホルダーに入れて携帯をお願いします。
 - ⑦磁気ネックレスは見えないようにしてください。全国規定・近畿ブロックに準じています。(ファイトン・コラントッテなど)

◆「レッツプレー」のコールがかかるタイミング

- ペアでの相談の時間が長く、なかなかプレーに入ろうとしない場合。
- ほどけていない靴ひもをわざとほどいてから結んだりしている場合。
- ベンチコーチの話が1分を過ぎた場合。
→1分とは【前のゲームが終わって「チェンジサイズ」のコールより、次のゲームの最初のサービスが始まるまで】の時間

「レッツプレー」のコールでもなかなかゲームに入ろうとしない場合はイエローカード(警告)の対象となる

→現状は生徒審判がほとんどで、イエローカード(警告)が出ることはほとんどありません。ただし、顧問の先生が時間を見ていただくなど、ルールに則して試合進行ができますよう、ご協力をよろしくお願いします。

◆応援と助言について

アンパイヤーは監督の言動が「応援(励まし)」なのか「助言」なのか区別する必要があります。

- ① 応援(励まし) <例>「ドンマイ!」「ナイスボール」等
- ② 助言(警告) <例>「クロスへ打て」「ぶつけれ」「ロブをつかえ」など
次のプレーにつながる具体的な内容を助言と判断する。

※ただし、いくら応援的発言であっても、ベンチを立てて発声したり、選手が監督の方を向いて話を聞くような場合は警告とする。

※応援的内容であっても、状況によって相手選手への威圧行為と判断される場合は警告となる。

◆タイム

プレーヤーに突発的な身体上の故障が生じ、プレーの継続ができなくなり、これを正審が認めた場合、タイムをとることができる。ただし、同一人が1回につき5分以内とし、かつ同一マッチで二回以内とする。

◆ケガの手当や助言について

ケガの手当などについてはコート内にいるプレーヤー・監督・外部コーチのみが行うことができる。

助言は奇数ゲーム後のチェンジサービス時とファイナルゲーム前のみ、監督・外部コーチが行うことができる。

※なお、ここで言う「監督・外部コーチ」とはベンチに入っている者を指すのであって、ベンチに入っていない者はあてはまらない。

※助言については大会による。ケガの手当については中学生対象の場合においては柔軟に対応されたい。

◆異議申し立てと質問

異議申し立ては一切禁止。

選手、監督・外部コーチは質問をすることができる。(ただし、監督・コーチは団体戦のときのみ)

ボールの跡を消したり、ネットの延長線を越えて質問しようとした場合は警告およびインターフェアで失点となる。

なお、質問ができるのはそのポイントで1回限りである。1回質問したことについてのアンパイヤーの判定に対して、両チームとも再質問はできない。また質問ができるのは、次のポイントが始まるまでとする。「次のポイントが始まる」とは、サーバーが次のトスをすることによってポイントをさかのぼって質問をすることもできない。行った場合は警告となる。

◆団体戦でメンバーが4人または5人である場合

2ペア以上を構成できる場合は出場することができる。

ただし、オーダーについては1番より順番に出すこととなる。

(例) 「1番ペア、2番ペア、3番棄権」 で必ず出すこと。

「1番ペア、2番棄権、3番ペア」 この出し方はできません。

3ペア構成できない場合は事案発生時、受付または本部にそのことを申告するとともに、大会本部は対戦相手にその旨を伝える。

◆リーグ戦の順位決定

勝率の高い順番に1位より順位を決める。ただし、勝率が同じチームがある場合は次の順番で比較をして、順位を決める。

- ① 二者同率の場合は、直接対決の結果を優先する。
- ② 三者以上が同率の場合は、同率者同士のみ成績を見て、勝率の高い順に順位を決定する。
- ③ ②でも順位を決定できない場合は同率者同士のみ成績を見て、以下の順番で順位を決定する。

【個人戦】(1) ゲーム差を比較する。(ゲーム差) = (得ゲーム) - (失ゲーム)

(2) ポイント差を比較する。

【団体戦】(1) マッチ差を比較する。 (2) ゲーム差を比較する。

(3) ポイント差を比較する。

※②、③で比較して二者が同率になった場合は①を適用する。

別表1 リーグ戦成績表 (3ペア団体戦)

	A	B	C	D	E	勝率	得失マッチ差	順位
A		③	②	②	③	4/4		1
B	0		②	1	②	2/4	±0	3
C	1	1		③	②	2/4	+2	2
D	1	②	0		③	2/4	-2	4
E	0	1	1	0		0/4		5

別表2 リーグ戦成績表 (3ペア団体戦)

	A	B	C	D	E	勝率	得失マッチ差	順位
A		③	②	1	1	2/4	+2	1
B	0		②	1	②	2/4	-2	5
C	1	1		③	②	2/4	+2	2
D	②	②	0		1	2/4	-2	4
E	②	1	1	②		2/4	±0	3

【解説】(別表1) まずは5チームでの勝率を比較したうえで、次に2勝で並んだBCDの3チームの相互の対戦結果を比較し、順位を決定。

(別表2) まずは5チームで勝率を比較したところ、すべて2勝で並んだ。そこで得失マッチ差を比較する。得失マッチ差が同じチーム(AとC、BとD)については直接対決の結果で、順位を決定。

<団体戦の試合の審判をするときの試合開始時の流れ>

審判台の前に正審・副審が並び。

- ・「整列」のコールで両チームがベースラインの後ろに整列する。

この時の両チームの並び方は、審判台側から監督・登録メンバーの順で並び。

- ・「集合」のコールで両校ネット付近まで前進。
- ・「ただいまより、～チーム(中学校)と～チーム(中学校)の試合を始めます。礼」
- ・「オーダー票を交換してください」交換後、採点票通りにオーダーを発表する。
- ・「ゼッケン確認をしますので、ゼッケンを見せてください」と言って、採点票の番手順とゼッケンが正しいか確認する。
- ・確認できたら「ありがとうございます」と言って向かいあってもらって、「では試合の準備をしてください」と言って1試合目を始めてください。

このとき、すぐに1試合目の選手がコートに来るように指導してください。監督のところに集合してアドバイス等の時間は与えてはいけません。遅延行為でイエローカードの対象となります。カードを出さなくても良いですが、すぐに試合を始められるように注意してください。

- ・1試合目の選手がサービスライン手前に整列したら、再度「集合」のコールをして、ネット付近でもう一度ゼッケン確認をおこなう。トスによるサービス・レシーブを確認したら、練習を始めてもらう。1本程度(1分程度)見届けて、「レディ」とコールする。